

## 平成24年度私立学校初任者研修 関東地区神奈川県研修会実施報告

本年度の私立学校初任者研修関東地区神奈川県研修会が、平成24年8月23日（木）から8月24日（金）2日間、神奈川県私学会館で開催され139名の参加があった。

まず、神奈川県私立中学高等学校協会理事長で聖光学院中学・高等学校の理事長・校長でもある工藤誠一氏による講演「私学教育の現状と私学人の使命」では、私学と公立の違い、私学を取り巻く喫緊の課題等、講演内容は多岐にわたり、私学にとって重要なことばかりであった。



また、文化学園大学杉並高等学校名誉校長である野原明氏の講演「教育をとりまく状況と私学の教員」では、学習指導要領とPIISA型学力についての問題など、教育界を取り巻く社会の動きについて詳細な説明がなされた。



午後からのからのシンポジウムでは「私学教員としての発見、～とっておきの話～」という協議題で、愛甲祐二氏（浅野中学・高等学校 教諭）、小野友三氏（桐光学園中学・高等学校教諭）、竹内智一氏（鎌倉学園中学・高等学校教諭）、竹中智子氏（カリタス女子中学・高等学校教諭）、藤原恵美氏（横浜雙葉中学・高等学校教諭）、村谷宏佳氏（横浜清風高等学校教諭）の先生方による、未来の日本を担う私学教員のあり方が議論された。



その後、国連開発計画（UNDP）親善大使としても活躍している女優の紺野美沙子氏の講話「国連開発計画親善大使として見たこと感じたこと」では、受講生は身を乗り出すようにして耳を傾けていた。



研修2日目は、終日グループ討議が行われた。午前中は生徒指導、午後からは教科指導について、少人数のグループに分かれて、それぞれのテーマについて話し合いがもたれた。



最後に討議のまとめとして全体会が実施され、修了証の授与で2日間の研修を終えた。

